

●世界の主な地震

平成 28 年（2016 年）1 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

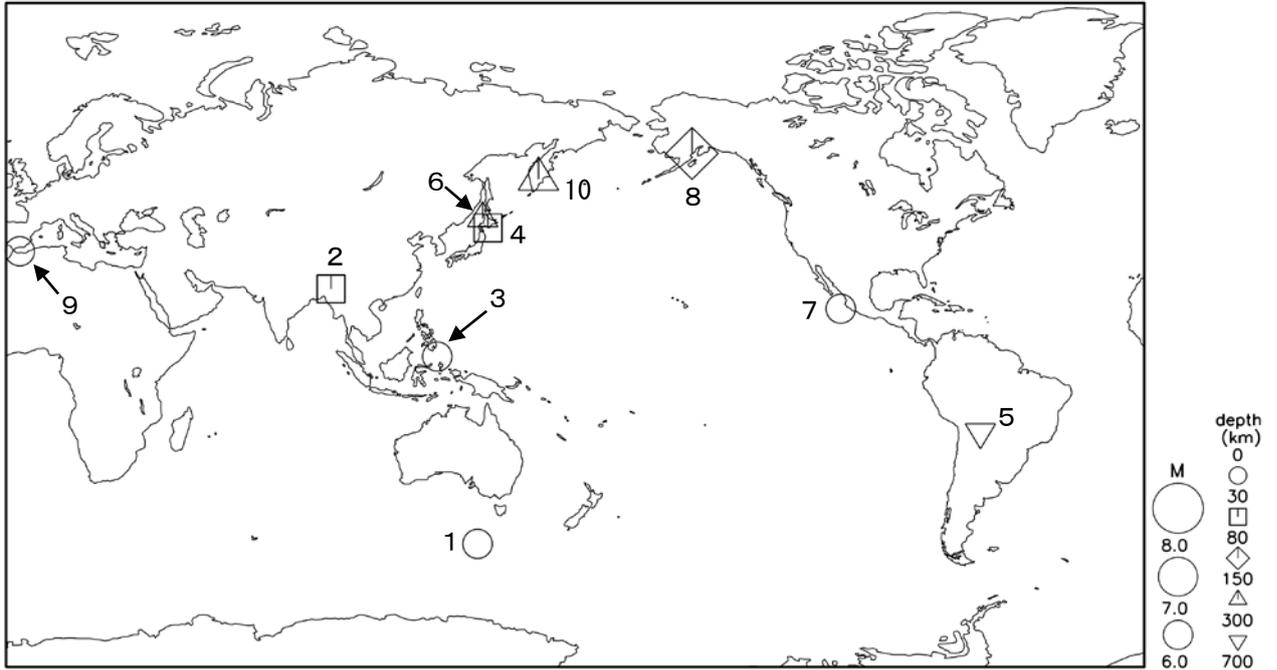


図 1 平成 28 年（2016 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake ArchiveSearch & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 2 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表1 平成28年(2016年)1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	01月01日11時00分	S50° 34.5′	E139° 26.8′	10			6.3	インド・南極海嶺 西部			
2	01月04日08時05分	N24° 50.0′	E 93° 39.3′	55			6.7	ミャンマー・インド 国境	インドで死者8人、 負傷者100人以上、 バングラディシュで 死者5人、負傷者 70人以上など		
3	01月12日01時38分	N 3° 51.8′	E126° 52.0′	21			6.5	インドネシア、タラ ウド諸島		○	
4	01月12日02時08分	N44° 25.8′	E141° 12.6′	265		6.2	(6.2)	北海道北西沖			
5	01月14日12時25分	S19° 49.5′	W 63° 17.1′	582			6.1	ボリビア南部			
6	01月14日12時25分	N41° 58.2′	E142° 48.0′	52		6.7	(6.7)	浦河沖		○	
7	01月22日03時06分	N18° 50.4′	W106° 57.2′	10			6.6	メキシコ、ハリス コ州沖			
8	01月24日19時30分	N59° 39.5′	W153° 27.1′	128			7.1	米国、アラスカ州 南部			○
9	01月25日13時22分	N35° 39.1′	W 3° 40.5′	12			6.3	ジブラルタル海峡			
10	01月30日12時25分	N54° 00.4′	E158° 30.3′	161			7.2	ロシア、カム チャッカ半島	北海道から宮城県 にかけて震度1を 観測	○	○

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2016年2月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・1月4日のミャンマー・インド国境の地震の被害状況は OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による(2016年1月4日現在)。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を公表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を公表したことを表す。

1月24日 米国、アラスカ州南部の地震

2016年1月24日19時30分（日本時間）に、米国、アラスカ州南部の深さ128kmでMw7.1の地震が発生した。この地震は北米プレートの下に沈み込む太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は南北方向に圧力軸を持つ型である。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、Mw4.0～5.0程度の地震が度々発生しているが、Mw7.0を超えるものは今回が初めてである。

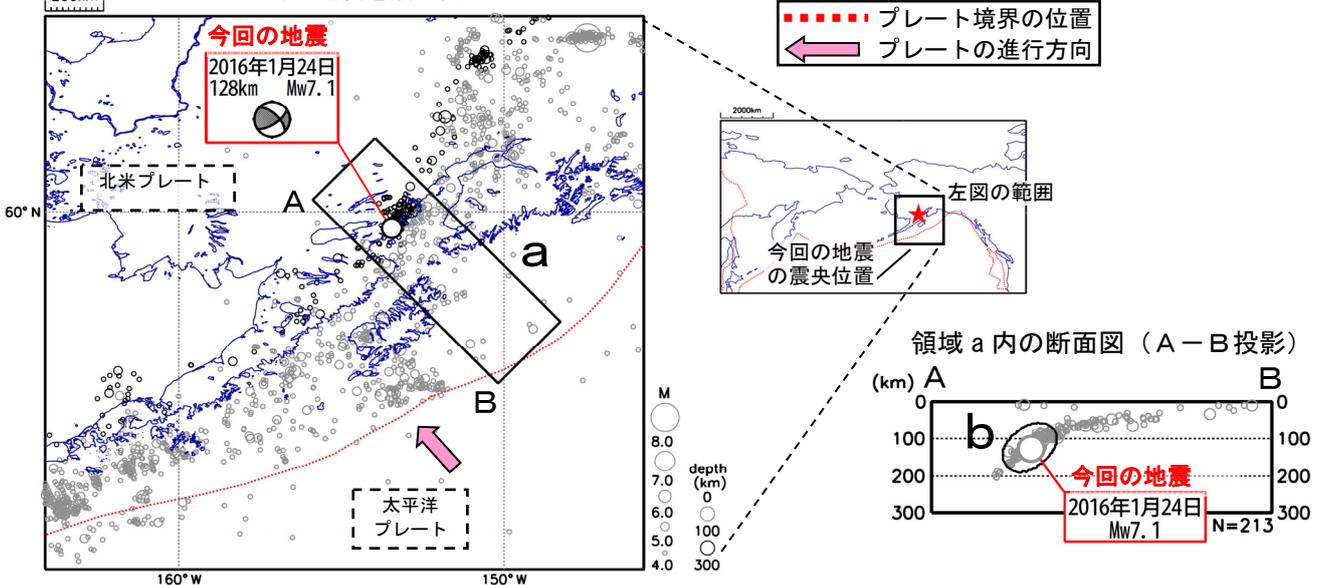
1900年以降の活動を見ると、太平洋プレートの沈み込みに沿ってMw8.0を超える地震が時々発生している。1964年3月28日にMw9.2のアラスカ地震が発生し、死者131人の被害が生じた。また、この地震に伴い、日本では大船渡で75cmの津波（観測値は「日本被害津波総覧」による）を観測するなど、太平洋沿岸の広い範囲で津波を観測した。

なお、気象庁は、今回の地震について、同日19時58分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

震央分布図

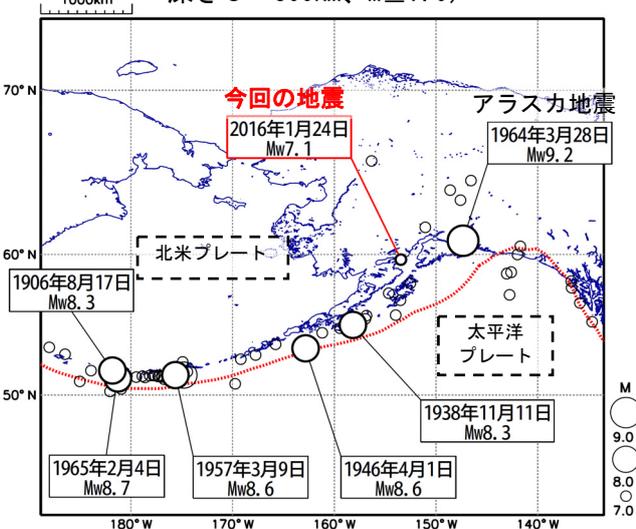
(2000年1月1日～2016年1月31日、
深さ0～300km、M≥4.0)

100kmより深い地震を濃く表示

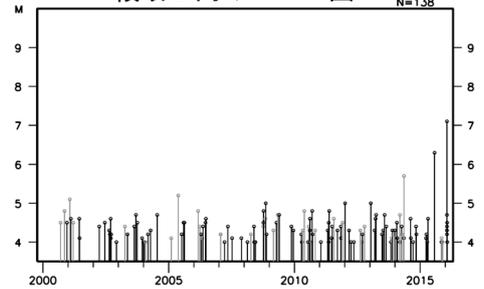


震央分布図

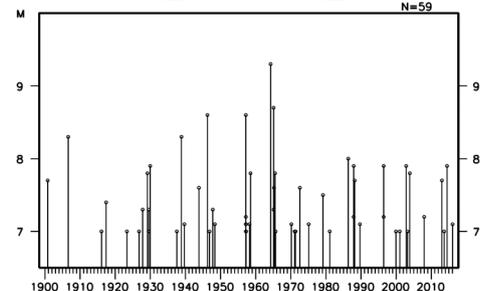
(1900年1月1日～2016年1月31日、
深さ0～300km、M≥7.0)



領域b内のM-T図



左図内のM-T図



本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。震央分布図中の、1900年1月～2009年12月の震源要素は国際地震センター(ISC)、2010年1月～2016年1月の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2016年2月2日現在)。ただし、1964年3月28日の地震のマグニチュードは理科年表による。プレート境界の位置はBird(2003)*より引用。プレートの進行方向と被害は、USGSによる。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

1月30日 ロシア、カムチャツカ半島の地震

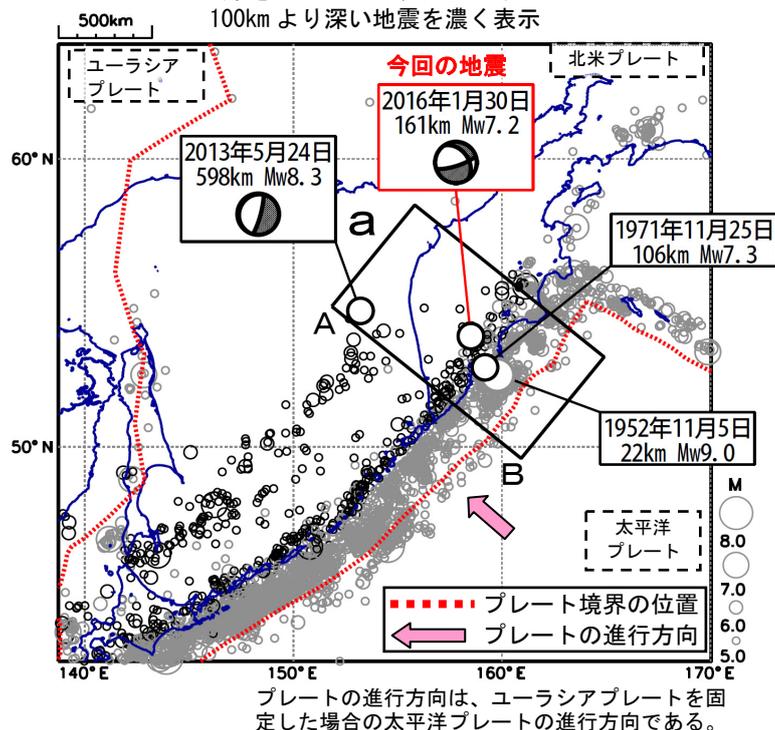
2016年1月30日12時25分（日本時間）に、ロシア、カムチャツカ半島の深さ161kmでMw7.2の地震が発生した。この地震により、北海道、青森県、宮城県で震度1を観測した。この地震は北米プレートの下に沈み込む太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ型であった。

1950年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、Mw6.0以上の地震が時々発生しており、1952年11月5日にはMw9.0のカムチャツカ地震が発生し、北海道から九州の太平洋沿岸で津波を観測した。養殖施設や漁船・漁具の破損・流失等の被害を生じた（日本被害地震総覧による）。

なお、気象庁は、今回の地震について、同日12時52分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

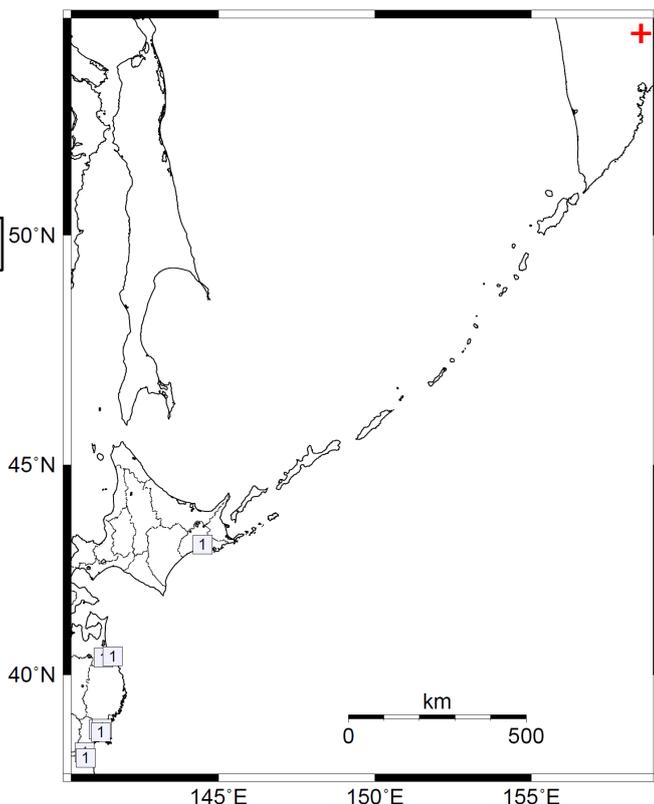
震央分布図

(1950年1月1日～2016年1月31日、
深さ0～700km、M≥5.0)
100kmより深い地震を濃く表示

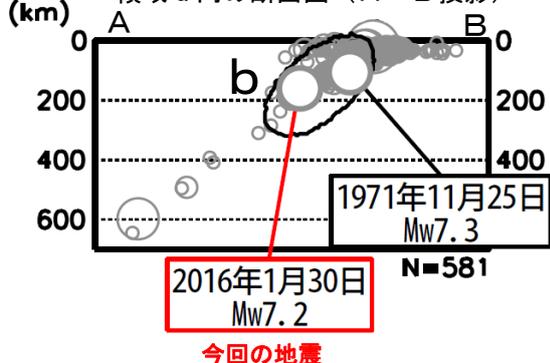


震度分布図

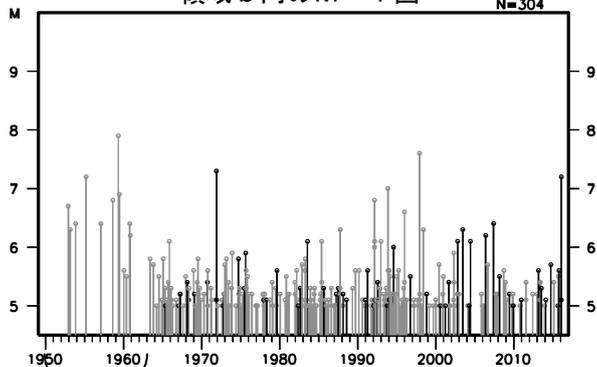
+印は震央を示す



領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図



この期間は検知能力が低い

本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。1950年1月～1963年12月の震源要素は国際地震センター（ISC）、1964年1月～2016年1月の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。（2016年2月1日現在）。1952年11月5日の地震のMwは理科年表、1971年11月25日の地震のMwはGlobalCMTプロジェクトによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.